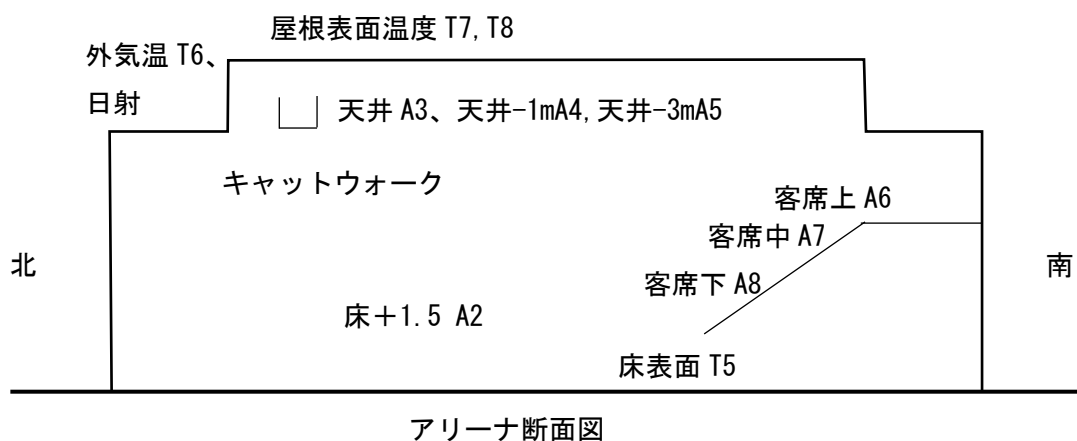


アリーナ室内温度分布の計測 速報

1. 温度センサーの設置状況

大空間構造内部の温度変化のメカニズムを明らかにする目的で大和大学アリーナ各所に温度センサー（熱電対、サーミスタ）を設置した。



外気温計（屋上）



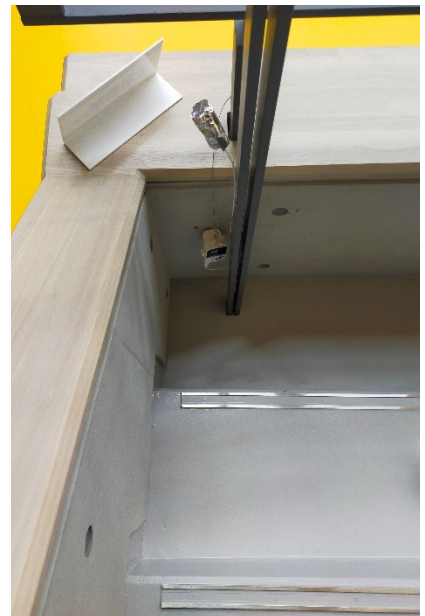
日射計（屋上）



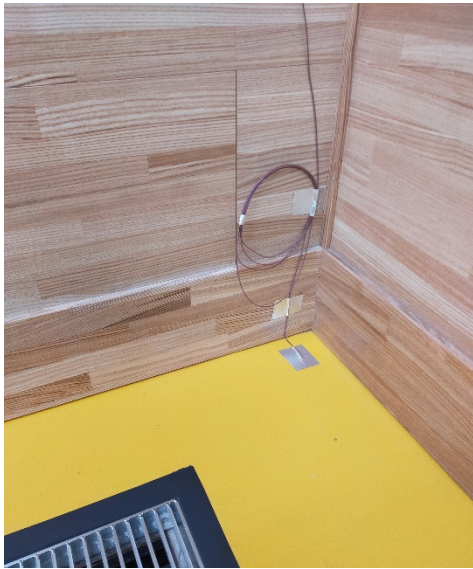
屋根表面温度 1,2



天井、天井-1m、天井-3m（キャットウォーク x09 通り）



東側客席 上、中、下



床上温度センサー（東南隅）



床上温度センサーのデータロガー（南客席）

2. 観測結果

下図に観測開始から約1週間の温度変化を示す。屋根表面では最高77.6℃と最高外気温の38.4℃より40℃程度高くなっている。天井直下の気温は屋根表面より40℃程度低く、断熱層が有効に機能している。室内気温は天井から下がるにつれ低くなっている。床面温度は床下空調の稼働によると思われる変化をしており、客席（下）の気温も影響を受けている。9/15のイベント時は客席側も空調の影響が出ている。7/16, 17は空調のない状態での温度変化が観測できている。

